

平成30年6月27日

マスコミ各位

# 数十年かけて咲く！？ 幻の花！？アオリユウゼツラン間もなく開花！

貴社におかれましては、日ごろより海の中道海浜公園の広報にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

海の中道海浜公園のフラワーミュージアムでは、**30～50年に一度しか咲かないといわれる『アオリユウゼツラン』**

## **3株が、つぼみをつけており、まもなく開花予定**

です。

一度開花すると、その株は枯れてしまうこともあり、開花に出くわすことは、稀です。当公園でも、平成27年に1株が咲いて以降、3年ぶりとなります。

ご多忙中のこととは存じますが、取材ならびに記事掲載のほどよろしく願いいたします。



硬く肉厚な葉は、とげとげしく、株の高さも人の高さ以上と大きい植物です。

4月下旬から茎が伸び始め、現在は、高さ7mとより巨大な姿になっています。

(平成30年6月25日撮影)



### 海の中道海浜公園に関する取材申し込み・お問い合わせ

記者問い合わせ

一般問い合わせ

広報係： きて 切手、ふたむら 二村、かめさか 亀坂

TEL : 092-603-1300  
FAX : 092-603-1199

海の中道管理センター

TEL : 092-603-1111 (代表) FAX: 092-603-1199

公園ホームページ <https://uminaka-park.jp/>

★ 最新情報は「うみなか」で検索ください。

★ 公園フェイスブック <https://www.facebook.com/uminaka.go.jp>

# アオリュゼツラン (青竜舌蘭) キジカクシ科リュウゼツラン属

アオリュゼツランは、数十年かけて成長した後、花を咲かせて枯れてしまうメキシコ原産の多肉植物です。原産地では、リュウゼツランの仲間の肥大化した茎を原料に、テキーラ酒を作っています。生育環境によっては、花を咲かせるまでに、非常に時間がかかり、英名で「センチュリープラント (century plant) 」(世紀の植物) の名もあります。

海の中道海浜公園では、平成 16 年のフラワーミュージアム造成時に 14 株のアオリュゼツランを植えており、平成 27 年 7 月に 1 株が初めて開花して以来、2 度目の開花を迎えます。今回は、一度に 3 株つぼみをつけており、高さある姿は、迫力満点です。

場 所	フラワーミュージアム
規 模	13 株 ※平成 27 年に開花した株は、枯れています。
開花の見頃	開花は、7 月上旬を予定 (現在、つぼみ) 開花後、2 週間程度ご覧いただける予定です。



(写真左) 5 月 16 日撮影のアオリュゼツラン  
株の根元からアスパラガスに似た花茎がどんどん伸びています。



(写真右) 6 月 25 日撮影のアオリュゼツラン  
たくさんのつぼみをつけています。

開花すると、写真右上のような黄色の線状の花をつけます。  
下の位置のつぼみから順に花をつけていくので、開花を  
長く楽しむことができます。(写真は、平成 27 年 7 月のもの)



▲花の様子 (平成 27 年に咲いたときのもの)

漢字で書くと「青の竜舌蘭」。とげとげしい大きな葉を、竜の舌に例えられ、ついた名です。

現在は、『つぼみ』の状況です。

開花情報は、公園のホームページで随時発信してまいります。  
花が咲きましたら、またリリースで案内いたします。

